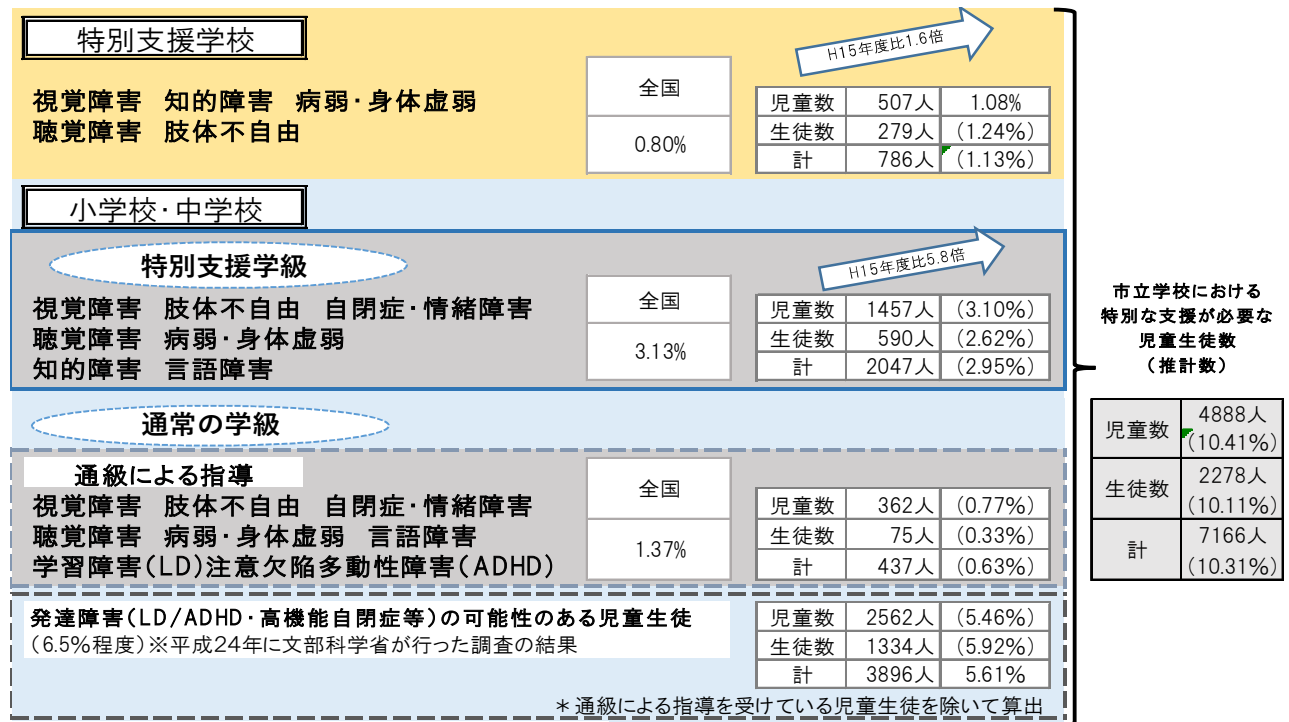


特別支援教育の現状と課題

○特別支援教育の必要な児童生徒（令和2年度 義務教育段階）



※ 通級の全国の値は令和元年度のデータ

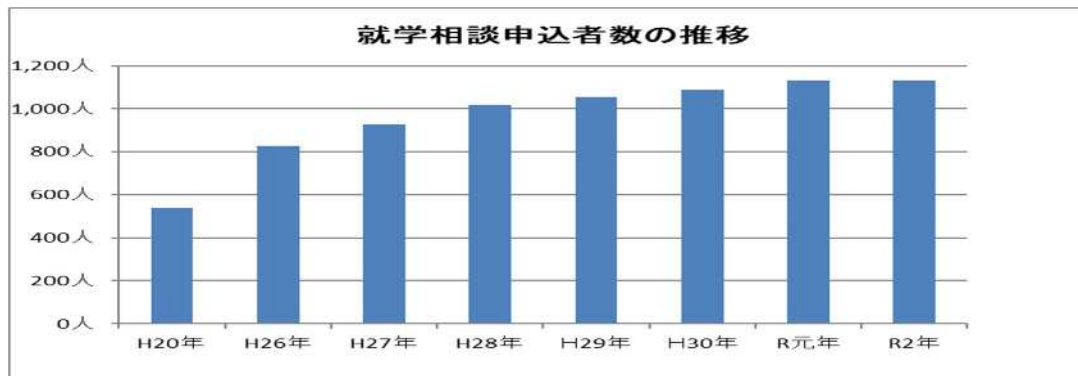
(参考) 市立学校在籍者数推移（義務教育段階）

	平成15年度	平成27年度	令和2年度
児童数	53,271人	48,496人	46,957人
生徒数	26,081人	24,109人	22,531人
計	79,352人	72,605人	69,488人

※令和2年度の在籍者数は、平成15年度比0.88倍、平成27年度の0.96倍

○就学相談の状況

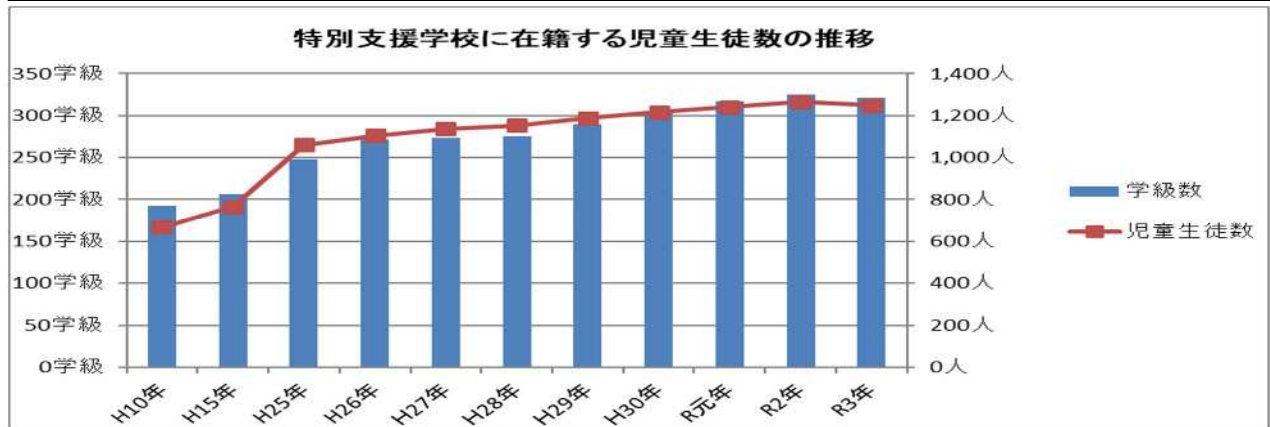
	H20年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
相談申込者(人)	538	828	927	1,018	1,055	1,089	1,132	1,130



(教育委員会調べ)

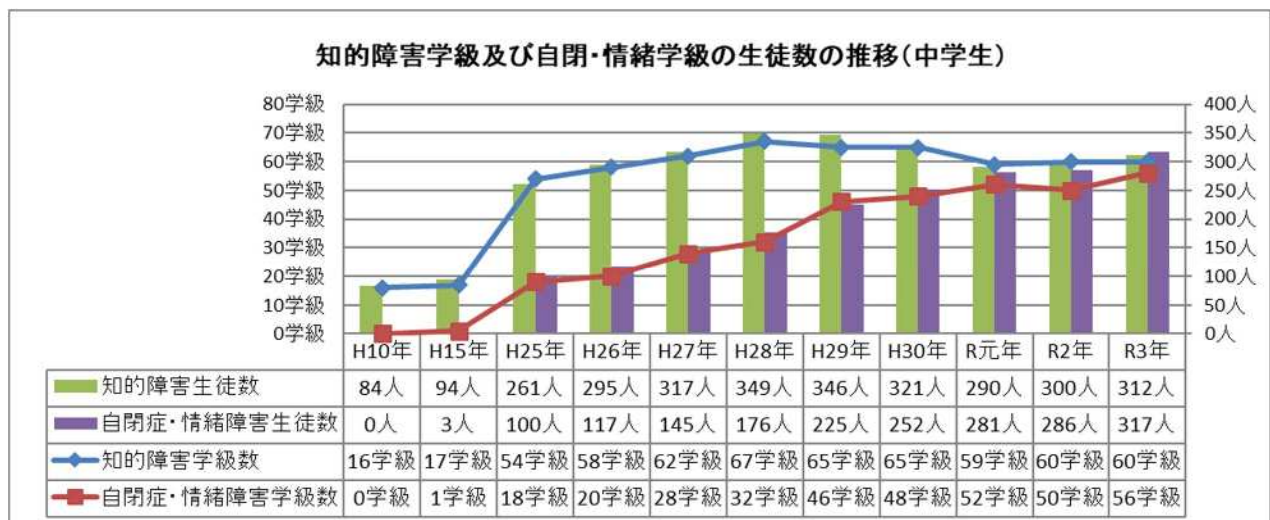
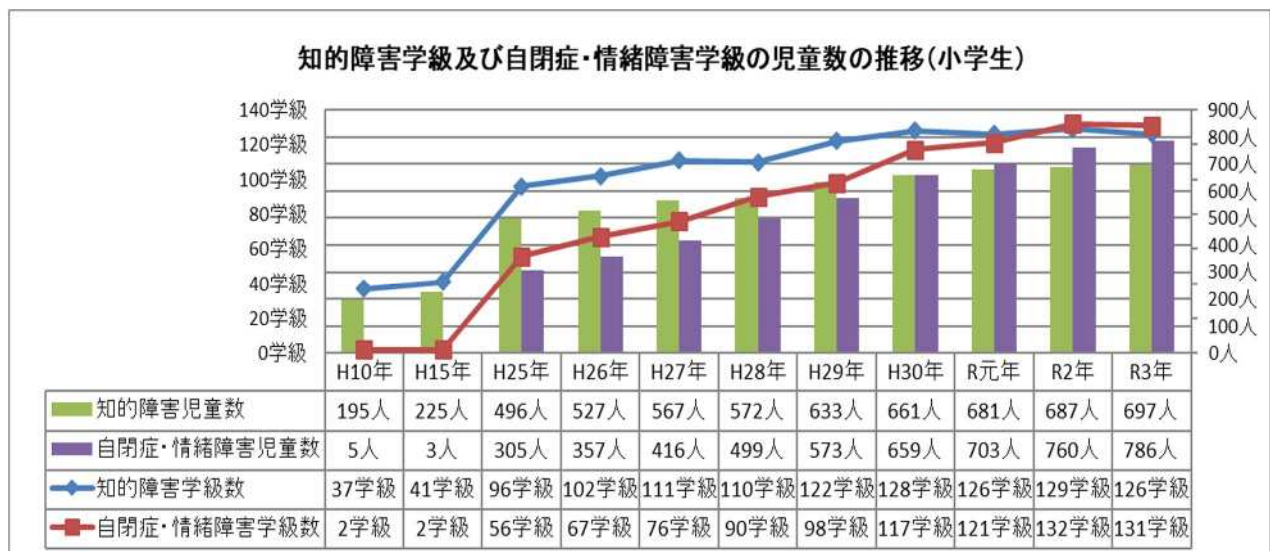
○特別支援学校の状況

	H10年	H15年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
学級数	192	206	248	271	273	275	289	304	317	325	321
児童生徒数	666	765	1,059	1,105	1,137	1,152	1,187	1,216	1,240	1,264	1,248



(教育委員会調べ)

○特別支援学級の状況（難聴以外）



(教育委員会調べ)

特別支援教育

(1) 特別支援学校及び特別支援学級等の児童生徒数等の推移

● 知的障害

年度	特別支援学校			小・中学校(特別支援学級)		
	学校数	学級数	児童生徒数	学校数	学級数	児童生徒数
平成16	4校	114学級	500人	43校	64学級	360人
17	4校	119学級	522人	46校	68学級	379人
18	4校	120学級	538人	53校	81学級	421人
19	5校	124学級	575人	59校	87学級	460人
20	5校	130学級	622人	68校	97学級	530人
21	5校	142学級	671人	75校	108学級	573人
22	5校	140学級	718人	85校	116学級	601人
23	5校	144学級	729人	92校	123学級	641人
24	5校	148学級	746人	98校	128学級	688人
25	5校	145学級	754人	111校	150学級	757人
26	5校	158学級	792人	118校	160学級	822人
27	5校	160学級	831人	129校	173学級	884人
28	6校	169学級	850人	134校	177学級	921人
29	6校	180学級	893人	142校	187学級	979人
30	6校	194学級	935人	148校	193学級	982人
令和元	6校	203学級	968人	149校	184学級	971人
2	6校	213学級	988人	149校	189学級	987人
3	6校	211学級	980人	149校	182学級	1,009人

● 肢体不自由

年度	特別支援学校			小・中学校(特別支援学級)		
	学校数	学級数	児童生徒数	学校数	学級数	児童生徒数
平成16	2校	69学級	197人			
17	2校	70学級	198人			
18	2校	76学級	213人			
19	2校	73学級	220人			
20	2校	72学級	207人			
21	2校	77学級	217人			
22	2校	72学級	205人			
23	2校	71学級	213人			
24	2校	79学級	235人			
25	2校	75学級	222人			
26	2校	86学級	232人			
27	2校	85学級	234人			
28	2校	82学級	237人			
29	2校	84学級	230人			
30	2校	83学級	217人			
令和元	2校	85学級	213人			
2	2校	84学級	214人			
3	2校	84学級	213人			

● 病弱（病弱・身体虚弱）

年度	特別支援学校			小・中学校(特別支援学級)		
	学校数	学級数	児童生徒数	学校数	学級数	児童生徒数
平成16	2校	19学級	64人	1校	2学級	9人
17	2校	26学級	84人	1校	2学級	11人
18	2校	22学級	70人	1校	2学級	10人
19	2校	25学級	87人	1校	1学級	7人
20	2校	27学級	92人	1校	1学級	8人
21	2校	24学級	82人	1校	1学級	8人
22	2校	28学級	92人	1校	1学級	4人
23	2校	30学級	97人	0校	0学級	0人
24	2校	31学級	91人	0校	0学級	0人
25	2校	28学級	83人	0校	0学級	0人
26	2校	27学級	81人	0校	0学級	0人
27	2校	28学級	72人	0校	0学級	0人
28	2校	24学級	65人	0校	0学級	0人
29	2校	25学級	63人	0校	0学級	0人
30	2校	27学級	64人	0校	0学級	0人
令和元	2校	29学級	59人	0校	0学級	0人
2	2校	28学級	62人	0校	0学級	0人
3	2校	26学級	55人	0校	0学級	0人

● 弱 視

年度	小・中学校(特別支援学級)			小・中学校(通級指導教室)		
	学校数	学級数	児童生徒数	学校数	教室数	児童生徒数
平成16				1校	1教室	3人
17				1校	1教室	1人
18				1校	1教室	2人
19				1校	1教室	3人
20				1校	1教室	4人
21				1校	1教室	4人
22				1校	1教室	8人
23				1校	1教室	7人
24				1校	1教室	9人
25				1校	1教室	9人
26				1校	1教室	9人
27				1校	1教室	9人
28				1校	1教室	8人
29				1校	1教室	6人
30				1校	1教室	5人
令和元						
2						4人
3						2人

● 難 聴

年度	小・中学校(特別支援学級)			小・中学校(通級指導教室)		
	学校数	学級数	児童生徒数	学校数	教室数	児童生徒数
平成16	5校	5学級	15人	4校	4教室	33人
17	5校	5学級	15人	4校	4教室	30人
18	5校	6学級	15人	4校	4教室	32人
19	5校	6学級	19人	4校	4教室	30人
20	3校	4学級	19人	4校	4教室	31人
21	6校	6学級	15人	4校	4教室	30人
22	6校	6学級	19人	4校	4教室	34人
23	6校	6学級	16人	4校	4教室	36人
24	6校	6学級	18人	4校	4教室	35人
25	6校	6学級	17人	4校	4教室	41人
26	6校	6学級	19人	4校	4教室	32人
27	6校	6学級	17人	4校	4教室	38人
28	6校	6学級	17人	4校	4教室	37人
29	5校	5学級	13人	4校	4教室	38人
30	4校	4学級	12人	4校	4教室	36人
令和元	5校	5学級	12人			25人
2	7校	7学級	14人			32人
3	7校	7学級	18人			21人

● 言語障害

年度	小・中学校(特別支援学級)			小・中学校(通級指導教室)		
	学校数	学級数	児童生徒数	学校数	教室数	児童生徒数
平成16				2校	4教室	53人
17				2校	4教室	54人
18				2校	4教室	53人
19				2校	4教室	48人
20				2校	4教室	47人
21				2校	4教室	33人
22				2校	4教室	38人
23				2校	4教室	44人
24				2校	4教室	47人
25				2校	4教室	49人
26				2校	4教室	52人
27				2校	4教室	51人
28				2校	4教室	59人
29				2校	4教室	44人
30				2校	4教室	47人
令和元						
2						29人
3						35人

● 自閉症・情緒障害

年度	小・中学校(特別支援学級)			小・中学校(通級指導教室)		
	学校数	学級数	児童生徒数	学校数	教室数	児童生徒数
平成16	3校	3学級	11人	3校	6教室	77人
17	3校	4学級	14人	3校	7教室	88人
18	5校	6学級	26人	4校	8教室	96人
19	8校	9学級	52人	4校	8教室	95人
20	13校	18学級	98人	3校	6教室	77人
21	21校	31学級	164人	3校	6教室	120人
22	32校	46学級	219人	3校	7教室	78人
23	36校	52学級	277人	3校	7教室	84人
24	42校	60学級	323人	3校	7教室	91人
25	50校	74学級	405人	3校	7教室	90人
26	61校	87学級	474人	3校	7教室	91人
27	71校	104学級	561人	3校	7教室	97人
28	85校	122学級	675人	3校	7教室	95人
29	96校	144学級	798人	3校	7教室	87人
30	108校	168学級	910人	5校	9教室	92人
令和元	108校	173学級	984人			93人
2	109校	182学級	1,046人			98人
3	112校	191学級	1,103人			142人

● LD (学習障害)・ADHD (注意欠陥多動性障害)

年度	小・中学校(特別支援学級)			小・中学校(通級指導教室)		
	学校数	学級数	児童生徒数	学校数	教室数	児童生徒数
平成16						
17						
18				2校	2教室	10人
19				2校	2教室	22人
20				4校	4教室	45人
21				5校	6教室	49人
22				6校	8教室	100人
23				6校	8教室	108人
24				7校	9教室	120人
25				8校	11教室	136人
26				8校	12教室	163人
27				8校	12教室	160人
28				9校	13教室	168人
29				9校	16教室	194人
30				10校	18教室	205人
令和元						214人
2						274人
3						271人

※ 特別支援教室の導入に伴い、障害種ごとに教室が設置されなくなったため、導入が始まった令和元年度から児童生徒数のみの数値とした。

● 特別支援教室の導入状況 (令和元年度より導入開始。児童生徒数は通級指導教室の内数)

【小学校】(巡回指導)

	拠点校数	巡回校数	教室数	障害種ごとの児童数				
				弱視	難聴	言語障害	自閉・情緒	LD・ADHD
令和元	1校	21校	5教室	0	2	12	21	14
2	4校	53校	17教室	0	2	29	66	104
3	10校	129校	102教室	2	2	35	125	232

※ 令和元年度は小倉北区、令和2年度は引き続き八幡西区に、令和3年度からは全区に導入

【中学校】(自校通級)

	導入校数	教室数	障害種ごとの生徒数				
			弱視	難聴	言語障害	自閉・情緒	LD・ADHD
令和元	1校	1教室	0	0	0	1	0
2	3校	3教室	0	0	0	8	6
3	3校	3教室	0	0	0	9	9

(教育委員会 特別支援教育課調べ)

(2) 医療的ケア児の推移

ア 特別支援学校に在籍する医療的ケア児

【全国】

(単位：人)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
児童生徒数	7,842	7,774	8,143	8,116	8,218	8,567	8,392
看護師数	1,354	1,450	1,566	1,665	1,807	2,042	2,430

※H30年度までは、公立特別支援学校における状況。R元年度からは国立、私立、株式会社立を含む。

(文部科学省「令和元年度学校における医療的ケアに関する実態調査」より)

【北九州市】

(単位：人)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
児童生徒数	23	29	32	35	34	33	37	45	52
看護師数	5	5	5	7	7	7	9	9	11

イ 地域の小中学校等に在籍する医療的ケア児

【全国】

(単位：人)

年度	H27	H28	H29	H30	R元
児童生徒数	839	766	858	974	1,146
看護師数	350	420	553	730	1,122

※ H30年度までは、公立小・中学校における状況。R元年度から幼稚園、高等学校、国立、私立、株式会社立を含む。

(文部科学省「令和元年度学校における医療的ケアに関する実態調査」より)

【北九州市】

(単位：人)

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
児童生徒数	8	8	8	10	9	10	12
看護師数	—	—	—	—	—	派遣委託	派遣委託

※ 1 派遣委託については、年間約660時間程度を確保。

2 医療的ケア児については原則として、自己管理又は保護者の付添いができることを条件として地域の小中学校で受け入れてきた。

(3) 特別支援学校における特別支援学校教諭免許状の保持状況

年度	特別支援学校数	教諭数	特別支援学校教諭 免許保持者数	免許保持率
平成16	8校	344人	268人	77.9%
17	8校	351人	291人	82.9%
18	8校	356人	305人	85.7%
19	9校	374人	329人	88.0%
20	9校	388人	340人	87.6%
21	9校	396人	344人	86.9%
22	9校	401人	357人	89.0%
23	9校	402人	363人	90.3%
24	9校	401人	368人	91.8%
25	9校	399人	356人	89.2%
26	9校	402人	374人	93.0%
27	9校	404人	368人	91.1%
28	8校	374人	347人	92.8%
29	8校	382人	352人	92.1%
30	8校	396人	380人	96.0%
令和1	8校	387人	384人	99.2%
2	8校	393人	391人	99.5%

※ 平成19年度から教育職員免許法施行規則の改正により、盲・聾学校免許を含み、特別支援学校教諭免許状として計上。

(教育委員会 教職員課調べ)